

問1 水が温度によってすがたを変えると、気体の状態になっているものの名前は何か。

1. 空気

2. 氷

3. 水

4. 水蒸気

問2 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど減らないのはなぜですか。

1. 水がふたに吸い込まれるから

2. 水がどんどん増えるから

3. 水が空気中に出ていかないから

4. 水が氷に変わるから

問3 気体である水蒸気を冷やしたとき、どのようなすがたに変わりますか。

1. あたかい空気

2. 液体である水

3. 固体である氷

4. 気体のままの水蒸気

問4 冷たい水を入れたコップの外側に水滴がつく理由として、正しいものはどれですか。

1. コップのガラスが、冷やされてとけて水になったから。

2. 空気中の水蒸気が、冷たいコップにふれて冷やされたから。

3. コップの中の水が、コップの壁を通りぬけてしみ出てきたから。

4. コップのまわりの空気が、あたためられて水に変わったから。

問5 プラスチックの容器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷凍庫で凍らせると、容器や氷の様子はどうなりますか。

1. 氷の体積が大きくなって、容器が外側にふくらむ

2. 氷の体積は変わらないので、容器の形も変わらない

3. 氷の体積がなくなって、容器の中身が空っぽになる

4. 氷の体積が小さくなって、容器が内側にへこむ

問6 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態のことを何といいますか。

1. 液体

2. 気体

3. 水蒸気

4. 固体

問7 水が温度によって、氷、水、水蒸気と、すがたを変えることを何といいますか。

1. 水の温度変化

2. 水の体積変化

3. 水の状態変化

4. 水の重さ変化

問8 水を熱したときに、中から出てくるあわの正体は何ですか。

1. 湯気

2. 酸素

3. 水じょう気

4. 空気

問9 水やアルコールのように、はっきりした形がなく、容器によって自由に形を変えられる状態を何といいますか。

1. 液体

2. 気体

3. 固体

4. 水蒸気

問10 水が空気中に出ていく量と、水を置く場所のあたかさ（温度）には、どのような関係がありますか。

1. 置く場所があたかいほうが、水が空気中に出ていく量が少なくなる。

2. 置く場所があたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなる。

3. 置く場所のあたかさが変わっても、水が空気中に出ていく量は変わらない。

4. 置く場所がつめたいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなる。

問11 水が凍り始めてから、すべての水が完全に凍ってしまうまでの間、温度はどのようにになりますか。

1. 0℃のまま変わらない

2. どんどん下がっていく

3. どんどん上がっていく

4. 上がったたり下がったりする

問12 空気の中にある水蒸気が、冷たいものにふれて冷やされ、水滴になってつく現象を何といいますか。

1. 体積（たいせき）

2. 結露（けつろ）

3. じょうはつ

4. ふっとう

問13 水蒸気が液体である水に変わるのは、水蒸気をどのようにしたときですか。

1. 温めたとき

2. 冷やしたとき

3. 沸騰させたとき

4. 凍らせたとき

問14 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水が減っていくのはなぜですか。

1. 水が空気中のちりをすくいこむから

2. 水がこおって氷に変わるから

3. 水が入れ物の底にしみこむから

4. 水がじょう発して空気中に出ていくから

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 4 すいじょうき 水蒸気	水が気体の状 態になったものを「水蒸気」といいます。氷は固体、水は液体の状 態です。
問2	答え 3 水が空気中に出ていかないから	ふたをすることで、コップの中の水が空気の中に出ていくのを防ぐため、水の量はほとんど減りません。
問3	答え 2 えきたい 液体である水	気体である水蒸気は、冷やされると液体である水に変わります。
問4	答え 2 すいじょうき 空気中の水蒸気が、冷たいコップにふれて冷やされたから。	コップの外側の水滴は、コップの中の水がしみ出たものではなく、空気中の水蒸気が冷たいコップにふれて冷やされ、水に戻ったものです。
問5	答え 1 氷の体積が大きくなって、容器が外側にふくらむ	水が氷になると体積が大きくなるため、容器いっぱいの水が凍ると、大きくなった分だけ容器を外側に押し上げます。
問6	答え 4 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状 態を固体といいます。
問7	答え 3 じょうたいへんか 水の状態変化	水が温度によって、氷（固体）、水（液体）、水蒸気（気体）とすがたを変えることを「水の状態変化」といいます。
問8	答え 3 水じょう気	水を熱したときに出てくるあわの正体は、水がすがたを変えた水じょう気です。
問9	答え 1 えきたい 液体	はっきりした形がなく、入れる容器に合わせて自由に形を変えられる状 態のことを液体といいます。
問10	答え 2 置く場所があたたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなる。	水は、置く場所があたたかい（温度が高い）ほうが、空気中に出ていく量が多くなります。
問11	答え 1 0℃のまま変わらない	水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問12	答え 2 けつろ 結露（けつろ）	空気中の水蒸気が冷やされて水滴になる現象を「結露」といいます。
問13	答え 2 冷やしたとき	気体の水蒸気は、冷やすことで液体である水に戻る性質があります。
問14	答え 4 水がじょう発して空気中に出ていくから	水がじょう発して空気中に出ていくことで、入れ物の中の水は減っていきます。

問1 水が温度によってすがたを変えると、気体の状態になっているものの名前は何か。

1. 空気 2. 氷 3. 水 4. 水蒸気

問2 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。

1. 氷 2. 湯気 3. 水じょう気 4. あわ

問3 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど減らないのはなぜですか。

1. 水がふたに吸い込まれるから 2. 水がどんどん増えるから 3. 水が空気中に出ていかないから 4. 水が氷に変わるから

問4 水蒸気が液体である水に変わるのは、水蒸気をどのようにしたときですか。

1. 温めたとき 2. 冷やしたとき 3. 沸騰させたとき 4. 凍らせたとき

問5 液体の特徴について説明したものとして、正しいものはどれですか。

1. はっきりした形があり、容器に入ると勝手に小さくなる。 2. はっきりした形がなく、容器によって自由に形を変えられる。 3. はっきりした形がなく、容器に入れるとすぐに消えてなくなる。 4. はっきりした形があり、容器に入れても形が変わらない。

問6 水が冷やされて凍り始めるときの温度は、何℃ですか。

1. 50℃ 2. 10℃ 3. 100℃ 4. 0℃

問7 お湯をわかしたときに見える「湯気」は、水じょう気がどのようになってできたものですか。

1. 空気中で温められて、大きなあわになったもの 2. 空気中で冷やされて、かたい氷のつぶになったもの 3. 空気中で温められて、目に見えない気体になったもの 4. 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの

問8 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水が減っていくのはなぜですか。

1. 水が空気中のちりをすいこむから 2. 水がこおって氷に変わるから 3. 水が入れ物の底にしみこむから 4. 水がじょう発して空気中に出ていくから

問9 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。

1. ふっとう 2. じょうはつ 3. けっしょう 4. ぎょうしゅく

問10 水が凍り始めてから、すべての水が完全に凍ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。

1. 0℃のまま変わらない 2. どんどん下がっていく 3. どんどん上がっていく 4. 上がったたり下がったりする

問11 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

1. 0℃近く 2. 50℃近く 3. 200℃近く 4. 100℃近く

問12 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態のことを何といいますか。

1. 液体 2. 気体 3. 水蒸気 4. 固体

問13 水やアルコールのように、はっきりした形がなく、容器によって自由に形を変えられる状態を何といいますか。

1. 液体 2. 気体 3. 固体 4. 水蒸気

問14 プラスチックの容器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷凍庫で凍らせると、容器や氷の様子はどうなりますか。

1. 氷の体積が大きくなって、容器が外側にふくらむ 2. 氷の体積は変わらないので、容器の形も変わらない 3. 氷の体積がなくなって、容器の中身が空っぽになる 4. 氷の体積が小さくなって、容器が内側にへこむ

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 すいじょうき 水蒸気	水が気体の状態になったものを「水蒸気」といいます。氷は固体、水は液体の状態です。
問2	答え 2 湯気	水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを湯気といいます。
問3	答え 3 水が空気中に出ていかないから	ふたをすることで、コップの中の水が空気の中に出ていくのを防ぐため、水の量はほとんど減りません。
問4	答え 2 冷やしたとき	気体の水蒸気は、冷やすことで液体である水に戻る性質があります。
問5	答え 2 はっきりした形がなく、容器によって自由に形を変えられる。	液体は決まった形を持たないため、入れる容器に合わせて自由に形を変えることができます。
問6	答え 4 0℃	水は冷やしていくと、0℃になったときに凍り始めます。
問7	答え 4 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの	湯気は、水じょう気が空気中で冷やされることで、目に見える水のつぶに変化したものです。
問8	答え 4 水がじょう発して空気中に出ていくから	水がじょう発して空気中に出ていくことで、入れ物の中の水は減っていきます。
問9	答え 1 ふっとう	水が熱せられて100℃近くになり、さかんにあわを出してわき立つ現象を「ふっとう」といいます。
問10	答え 1 0℃のまま変わらない	水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問11	答え 4 100℃近く	水がふっとうしているときの温度は、およそ100℃近くになります。
問12	答え 4 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態を固体といいます。
問13	答え 1 えきたい 液体	はっきりした形がなく、入れる容器に合わせて自由に形を変えられる状態のことを液体といいます。
問14	答え 1 氷の体積が大きくなって、容器が外側にふくらむ	水が氷になると体積が大きくなるため、容器いっぱいの水が凍ると、大きくなった分だけ容器を外側に押し広げます。

問1 水が冷えて凍り、氷になるとき、水の体積（かさ）はどのように変化しますか。

1. 変わらない 2. 大きくなる 3. 半分になる 4. 小さくなる

問2 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水が減っていくのはなぜですか。

1. 水が空気中のちりをすいこむから 2. 水がこおって氷に変わるから 3. 水が入れ物の底にしみこむから 4. 水がじょう発して空気中に出ていくから

問3 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態のことを何といいますか。

1. 液体 2. 気体 3. 水蒸気 4. 固体

問4 水を熱し続けて、水がふっとうしている間、水の温度はどのように変化しますか。

1. どんどん下がっていく 2. どんどん上がり続ける 3. 上がったりがったりをくり返す 4. 100℃近くのまま上がらなくなる

問5 水を熱したときに、中から出てくるあわの正体は何ですか。

1. 湯気 2. 酸素 3. 水じょう気 4. 空気

問6 水蒸気が液体である水に変わるのは、水蒸気をどのようにしたときですか。

1. 温めたとき 2. 冷やしたとき 3. 沸騰させたとき 4. 凍らせたとき

問7 水が凍り始めてから、すべての水が完全に凍ってしまうまでの間、温度はどのようにになりますか。

1. 0℃のまま変わらない 2. どんどん下がっていく 3. どんどん上がっていく 4. 上がったりがったりする

問8 しめった地面がかわいていくのは、地面の中の水がどうなるからです。

1. 空気中のちりと合体して消えてしまうから 2. 太陽の光で燃えてなくなってしまうから 3. 水じょう気になって空気中に出ていくから 4. 地面の奥深くにすべてすいこまれて消えるから

問9 水が温度によって、氷、水、水蒸気と、すがたを変えることを何といいますか。

1. 水の温度変化 2. 水の体積変化 3. 水の状態変化 4. 水の重さ変化

問10 次のうち、かたまりになっていて、自由に形を変えられない「固体」の例はどれですか。

1. 水 2. 水蒸気 3. 氷 4. 空気

問11 固体である氷が、液体である水に変化するのは、氷をどのようにしたときですか。

1. 冷やしたとき 2. 温めたとき 3. 暗いところにおいたとき 4. 風にあてたとき

問12 空気の中にある水蒸気が、冷たいものにふれて冷やされ、水滴になってつく現象を何といいますか。

1. 体積（たいせき） 2. 結露（けつろ） 3. じょうはつ 4. ふっとう

問13 水やアルコールのように、はっきりした形がなく、容器によって自由に形を変えられる状態を何といいますか。

1. 液体 2. 気体 3. 固体 4. 水蒸気

問14 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

1. 0℃近く 2. 50℃近く 3. 200℃近く 4. 100℃近く

問15 水がふっとうしているとき、水の中はどのような様子になりますか。

1. あわを出さずに色が変わり始める。 2. あわを出さずに少しずつ減っていく。 3. さかんにあわを出しながらわき立つ。 4. あわを出さずに静かに凍り始める。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 2 大きくなる	水は凍 ^{こお} って氷になると、体積（かさ）が大きくなるという性質 ^{せいしつ} があります。
問2	答え 4 水がじょう発して空気中に出ていくから	水がじょう発して空気中に出ていくことで、入れ物の中の水は減 ^へ っていきます。
問3	答え 4 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状 ^{じょう} 態 ^{たい} を固体といいます。
問4	答え 4 100℃近くのまま上がらなくなる	水がふっとうしている間は、熱し続けても温度は100℃近くのまま上がらなくなります。
問5	答え 3 水じょう気	水を熱したときに出てくるあわの正体は、水がすがたを変えた水じょう気です。
問6	答え 2 冷やしたとき	気体 ^{すいじょうき} の水蒸気は、冷やすことで液体 ^{えきたい} である水に戻る性質 ^{ちど せいしつ} があります。
問7	答え 1 0℃のまま変わらない	水が凍 ^{こお} り始めてから全部凍 ^{こお} るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問8	答え 3 水じょう気になって空気中に出ていくから	地面 ^{ちめん} がかわくのは、地面の中にある水が水じょう気に変化して、空気の中に出ていくためです。
問9	答え 3 水 ^{じょうたいへんか} の状態変化	水が温度によって、氷（固体）、水（液体）、水蒸気（気体）とすがたを変えることを「水の状態変化 ^{じょうたいへんか} 」といいます。
問10	答え 3 氷	固体は氷や鉄のように、かたまりになっていて形を変えられない状 ^{じょう} 態 ^{たい} のことです。水や空気は形が変わるため固体ではありません。
問11	答え 2 温めたとき	固体である氷は、温めることで液体 ^{えきたい} である水に変化します。
問12	答え 2 けつろ（けつろ） 結露	空気中の水蒸気 ^{すいじょうき} が冷やされて水滴 ^{すいてき} になる現象 ^{げんしょう} を「結露 ^{けつろ} 」といいます。
問13	答え 1 えきたい 液体	はっきりした形がなく、入れる容器 ^{ようき} に合わせて自由に形を変えられる状 ^{じょう} 態 ^{たい} のことを液体 ^{えきたい} といいます。
問14	答え 4 100℃近く	水がふっとうしているときの温度は、およそ100℃近くになります。
問15	答え 3 さかんにあわを出しながらわき立つ。	水がふっとうすると、温度が100℃近くになり、さかんにあわを出しながら激しくわき立ちます。

問1 水を熱し続けて、水がふっとうしている間、水の温度はどのように変化しますか。

1. どんどん下がっていく 2. どんどん上がり続ける 3. 上がったたり下がったりをくり返す 4. 100℃近くのまま上がらなくなる

問2 冷たい水を入れたコップの外側に水滴がつく理由として、正しいものはどれですか。

1. コップのガラスが、冷やされてとけて水になったから。 2. 空気中の水蒸気が、冷たいコップにふれて冷やされたから。 3. コップの中の水が、コップの壁を通りぬけてしみ出てきたから。 4. コップのまわりの空気が、あたためられて水に変わったから。

問3 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

1. 0℃近く 2. 50℃近く 3. 200℃近く 4. 100℃近く

問4 液体の特徴について説明したものとして、正しいものはどれですか。

1. はっきりした形があり、容器に入れると勝手に小さくなる。 2. はっきりした形がなく、容器によって自由に形を変えられる。 3. はっきりした形がなく、容器に入れるとすぐに消えてなくなる。 4. はっきりした形があり、容器に入れても形が変わらない。

問5 同じ量の水を入れた2つのコップのうち、一方はあたたかい日なたに、もう一方はすずしい日かげに置きました。どちらの水が早く空気中に出ていって減りますか。

1. すずしい日かげに置いたコップの水 2. あたたかい日なたに置いたコップの水 3. どちらのコップの水も同じ早さで減る 4. どちらのコップの水もまったく減らない

問6 次のうち、かたまりになっていて、自由に形を変えられない「固体」の例はどれですか。

1. 水 2. 水蒸気 3. 氷 4. 空気

問7 水を熱したときに、中から出てくるあわの正体は何ですか。

1. 湯気 2. 酸素 3. 水じょう気 4. 空気

問8 お湯をわかしたときに見える「湯気」は、水じょう気がどのようになってできたものですか。

1. 空気中で温められて、大きなあわになったもの 2. 空気中で冷やされて、かたい氷のつぶになったもの 3. 空気中で温められて、目に見えない気体になったもの 4. 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの

問9 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。

1. 氷 2. 湯気 3. 水じょう気 4. あわ

問10 水が凍り始めてから、すべての水が完全に凍ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。

1. 0℃のまま変わらない 2. どんどん下がっていく 3. どんどん上がっていく 4. 上がったたり下がったりする

問11 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水が減っていくのはなぜですか。

1. 水が空気中のちりをすいこむから 2. 水がこおって氷に変わるから 3. 水が入れ物の底にしみこむから 4. 水がじょう発して空気中に出ていくから

問12 空気の中にある水蒸気が、冷たいものにふれて冷やされ、水滴になってつく現象を何といいますか。

1. 体積（たいせき） 2. 結露（けつろ） 3. じょうはつ 4. ふっとう

問13 コップに水を入れて部屋においておくと、何日かたったあとに水のかさがへっていました。これは、水がどうなったからですか。

1. ふっとうしてあわになったから 2. こおって氷になったから 3. コップにしみこんで消えたから 4. じょう発して水じょう気になったから

問14 水蒸気が液体である水に変わるのは、水蒸気をどのようにしたときですか。

1. 温めたとき 2. 冷やしたとき 3. 沸騰させたとき 4. 凍らせたとき

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 4 100℃近くのまま上がらなくなる	水がふっとうしている間は、熱し続けても温度は100℃近くのまま上がりません。
問2	答え 2 空気中の水蒸気が、冷たいコップにふれて冷やされたから。	コップの外側の水滴は、コップの中の水がしみ出たものではなく、空気中の水蒸気が冷たいコップにふれて冷やされ、水に戻ったものです。
問3	答え 4 100℃近く	水がふっとうしているときの温度は、およそ100℃近くになります。
問4	答え 2 はっきりした形がなく、容器によって自由に形を変えられる。	液体は決まった形を持たないため、入れる容器に合わせて自由に形を変えることができます。
問5	答え 2 あたたかい日なたに置いたコップの水	置く場所があたたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなるため、日なたに置いた水のほうが早く減ります。
問6	答え 3 氷	固体は氷や鉄のように、かたまりになっていて形を変えられない状態のものです。水や空気は形が変わるため固体ではありません。
問7	答え 3 水じょう気	水を熱したときに出てくるあわの正体は、水がすがたを変えた水じょう気です。
問8	答え 4 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの	湯気は、水じょう気が空気中で冷やされることで、目に見える水のつぶに変化したものです。
問9	答え 2 湯気	水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを湯気といいます。
問10	答え 1 0℃のまま変わらない	水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問11	答え 4 水がじょう発して空気中に出ていくから	水がじょう発して空気中に出ていくことで、入れ物の中の水は減っていきます。
問12	答え 2 結露（けつろ）	空気中の水蒸気が冷やされて水滴になる現象を「結露」といいます。
問13	答え 4 じょう発して水じょう気になったから	水は熱していなくても、まわりの空気中へ少しずつじょう発して水じょう気になるため、水のかさがへっていきます。
問14	答え 2 冷やしたとき	気体の水蒸気は、冷やすことで液体である水に戻る性質があります。

問1 水を熱し続けて、水がふっとうしている間、水の温度はどのように変化しますか。

1. どんどん下がっていく 2. どんどん上がり続ける 3. 上がったたり下がったりをくり返す 4. 100℃近くのまま上がらなくなる

問2 水蒸気や空気のように、目に見えない状態のことを何といいますか。

1. 固体 2. 水滴 3. 液体 4. 気体

問3 水が冷やされて凍り始めるときの温度は、何℃ですか。

1. 50℃ 2. 10℃ 3. 100℃ 4. 0℃

問4 固体である氷を温めたとき、何に変化しますか。

1. 気体である水蒸気 2. 固体のままの氷 3. 液体である水 4. 空気

問5 水を熱し続けると、水がじょう発して空気中に出ていきます。このとき、入れ物の中の水全体の量はどうなりますか。

1. 減る 2. 増える 3. 一度増えてから減る 4. 変わらない

問6 しめった地面がかわいていくのは、地面の中の水がどうなるからですか。

1. 空気中のちりと合体して消えてしまうから 2. 太陽の光で燃えてなくなってしまうから 3. 水じょう気になって空気中に出ていくから 4. 地面の奥深くにすべてすいこまれて消えるから

問7 水が冷えて凍り、氷になるとき、水の体積（かさ）はどのように変化しますか。

1. 変わらない 2. 大きくなる 3. 半分になる 4. 小さくなる

問8 次のうち、目に見えない「気体」のなかまはどれですか。

1. 氷 2. 湯気 3. 水蒸気 4. 水

問9 固体である氷が、液体である水に変化するのは、氷をどのようにしたときですか。

1. 冷やしたとき 2. 温めたとき 3. 暗いところにおいたとき 4. 風にあてたとき

問10 気体である水蒸気を冷やしたとき、どのようなすがたに変わりますか。

1. あたたかい空気 2. 液体である水 3. 固体である氷 4. 気体のままの水蒸気

問11 水を入れたコップにふたをして置いておくと、中の水の量はどうなりますか。

1. 半分に減ってしまう 2. すべてなくなってしまう 3. ほとんど減らない 4. どんどん増えていく

問12 水を熱したときに、中から出てくるあわの正体は何ですか。

1. 湯気 2. 酸素 3. 水じょう気 4. 空気

問13 水が凍り始めてから、すべての水が完全に凍ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。

1. 0℃のまま変わらない 2. どんどん下がっていく 3. どんどん上がっていく 4. 上がったたり下がったりする

問14 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態のことを何といいますか。

1. 液体 2. 気体 3. 水蒸気 4. 固体

問15 同じ量の水を入れた2つのコップのうち、一方はあたたかい日なたに、もう一方はすずしい日かげに置きました。どちらの水が早く空気中に出ていって減りますか。

1. すずしい日かげに置いたコップの水 2. あたたかい日なたに置いたコップの水 3. どちらのコップの水も同じ早さで減る 4. どちらのコップの水もまったく減らない

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 4 100℃近くのまま上がらなくなる	水がふっとうしている間は、熱し続けても温度は100℃近くのまま上がりなくなります。
問2	答え 4 気体	すいじょうき 水蒸気や空気のように、目に見えない状 じょうたい 態のことを気体といいます。
問3	答え 4 0℃	水は冷やしていくと、0℃になったときに凍 こお り始めます。
問4	答え 3 えきたい 液体である水	固体である氷を温めると、液体である水に変化します。
問5	答え 1 減 へ る	水を熱し続けると、水がじょう発して空気中に出ていくため、水の量 りょう は減ります。
問6	答え 3 水じょう気になって空気中に出ていくから	地面がかわくのは、地面の中にある水が水じょう気に変化して、空気の中に出ていくためです。
問7	答え 2 大きくなる	水は凍 こお って氷になると、体積（かさ）が大きくなるという性質 せいしつ があります。
問8	答え 3 すいじょうき 水蒸気	水蒸気は目に見えない気体です。湯気や水は目に見える液体 えきたい で、氷は固体です。
問9	答え 2 温めたとき	固体である氷は、温めることで液体 えきたい である水に変化します。
問10	答え 2 えきたい 液体である水	気体である水蒸気 すいじょうき は、冷やされると液体 えきたい である水に変わります。
問11	答え 3 ほとんど減 へ らない	コップにふたをしておくと、中の水が空気中に出ていかないため、水の量 りょう はほとんど減りません。
問12	答え 3 水じょう気	水を熱したときに出てくるあわの正体は、水がすがたを変えた水じょう気です。
問13	答え 1 0℃のまま変わらない	水が凍 こお り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問14	答え 4 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状 じょうたい 態を固体といいます。
問15	答え 2 あたたかい日なたに置いたコップの水	置く場所があたたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなるため、日なたに置いた水のほうが早く減 へ ります。